

**(韓国語)**

- (1) 김미라 2015 「크로스미디어스토리텔링사례연구 - 웹툰 <미생>의 드라마 <미생>으로의 재매개」 『한국콘텐츠학회논문지』 제15권 제8호 한국콘텐츠학회 p130 - 140.
- (2) 손상익 1996 한국만화통사 신사시대부터 1945년까지 프레스빌
- (3) 손진원 2019 「웹툰과 드라마를 매개하는 ‘로맨스’」 『지금, 만화』 volume 4 2019 autumn 한국콘텐츠진흥원p17-21.
- (4) 이상민 2009 “웹 만화의 매체적 특성과 스토리텔링에 관한 연구”, 한국학연구, 제30호, p.237-262
- (5) 위근우 2019 「드라마가 된 웹툰, 안일한 소재주의와K-드라마 문법의한계를 넘어」 『지금, 만화』 volume 4 2019 autumn 한국콘텐츠진흥원 p4 - 9.
- (6) 한국콘텐츠진흥원일본비즈니스센터 일본 콘텐츠산업동향(2018년 14호)
- (7) 한국콘텐츠진흥원 『만화산업백서2019』 한국콘텐츠진흥원2020

**(資料)**

- (8) 나무위키 「이태원 클라쓰(드라마)/원작과의 차이점」 (最終確認2020年11月10日)
- (9) [https://namu.wiki/w/이태원 클라쓰\(드라마\)/원작과의 차이점](https://namu.wiki/w/이태원_클라쓰(드라마)/원작과의_차이점)
- (10) 짹짹리뷰\_웹툰&드라마 「이태원 클라쓰. 웹툰과 드라마 다른점 100가지 (1화~10화 총정리)」 (最終確認2020年11月10日)  
<https://www.youtube.com/watch?v=bS-osCkPYnA&feature=youtu.be>
- (11) 짹짹리뷰\_웹툰&드라마 「이태원 클라쓰. 11~16화 웹툰과 드라마 다른점 88가지(스포주의)」 (最終確認2020年11月10日)  
<https://www.youtube.com/watch?v=5ykQLd6RLaM>

**注釈:**

- [1] 韓国ではウェブ上に公開される縦スクロール型を主とするマンガをウェブトゥーン(Webtoon)と呼ぶ。本稿においても、ウェブトゥーンという表記で統一する。本作品はウェブトゥーンとして、2016年12月27日から毎週火曜日更新で連載され、2018年7月3日に完結、8月7日から有料公開に切り替わった。ダウム及びカカオページでの照会数は累積読者数1千万人、累積アクセス数は3億件、平均評価9.9点とされた人気作品である。
- [2] ウェブトゥーンでは「チャンガ」に「張家」の漢字があてられていることが読み取れるコマが存在する。しかしドラマ版日本語字幕では「長家」と訳された。ここでは「長家(チャンガ)」と記述していく。

(勤務先：京都産業大学現代社会学部)